

夕刊フジ(新聞)の『この人あり』のコーナーで、



当院院長が特集されました。

この人あり

インタビュー特集

日本人の3大死亡原因の上位は、がん・心疾患・脳血管疾患といわれている。糖尿病など生活習慣病の予防方法は進歩しているが、がんなどの予防は難しく、早期発見する「がんが治療への一番の近道だ。高齢化社会が進むなか、時代は今、治療から予防へ」と変わりつつある。ひうらクリニック(兵庫県伊丹市)の日浦院長は「健康に生きる喜びを患者さんと」家族が、共に分かち合える医療を行う「1111」を診療理念に掲げ、総合的な予防医療を実践している。

(坂本 紀男)



ひうらクリニック 院長 日浦 祐一郎さん

(ひうら ゆういちろう) 平成14年熊本大学医学部卒業。同年大阪大学附属病院消化器外科学教室入局。平成20年大阪大学大学院にて食欲増進ホルモンの研究に従事し、医学博士学位取得。兵庫県内のクリニックにて内科、在宅医療に従事し、市立伊丹病院の勤務。平成24年11月「ひうらクリニック」開設。

プロフィール

レルキー科を担当している。

「治療の進歩により、

がんも治療する時代になっていきました。しかし、検査が苦痛なのではとの思いから病院を訪れず、その結果、病気の発見が遅れ、治療が手遅れになる患者さんも多くいらっしゃいます。当クリニックでは患者さんが楽に検査を受けていただけるよう、病気の進行を未然に防ぐことに努めています」と昨年11月、伊丹市にひうらクリニックを開院した日浦祐一郎院長は語る。

勤務医時代、がんに対する手術治療を中心に携わってきた日浦院長は、進行がんがゆえに残念ながら治療できない患者を数多く見てきた。

「早期で見つかったら、それほど思う事が何度もあり、その度に無力さを感じ

身体に優しい検査で病気を予防を

じてきました」

ひうらクリニックでは、眠っている間に検査ができる鼻から胃カメラや大腸カメラをはじめ、身体に優しい検査を行っています。また、患者に満足して帰ってもらえるようにと、帰ってから、接遇講習を受けるスタッフを揃えており、今後は在宅診療にも力を入れていく予定です。

「診療しながらカルテの裏の部分、つまりその人の人生に触れることがあります。早期発見で患者さんを救うことで、その後の人生も救えることに努めています。」

その他一般内科、生活習慣病、毒の目掃り手術(切らずに治す痔の手術)、禁煙外来といった総合的な医療を提供し、妻で前院長の期待が寄せられている。

■問い合わせ ひうらクリニック
☎072・782・1211
URL: <http://www.hiura-clinic.net>

